

2020 年度「政策立案トレーニング」受講生 募集要項

1. 研修の応募概要について

(1) 研修日程

2020 年 5 月～2020 年 12 月（予定）

＊原則、金曜日 13:00～17:00（全 15 回）

＊ただし、一部、木曜日、13:00～17:30 または金曜日 9:00～12:00 または
金曜日 13:00～17:30 終了の実施日程もあります

＊研修初回は下記日程でおこないます

日時：5 月 8 日（金）14:30～17:00

内容：研修受講にあたってのガイダンス、特別講義

（講師：学校法人立命館理事長 森島朋三）

場所：立命館大学 朱雀キャンパス ※会場の詳細は受講決定者に連絡いたします。

(2) 研修開催場所

立命館大学 朱雀キャンパス（JR 嵯峨野線二条駅・地下鉄東西線二条駅 徒歩 2 分）

(3) 募集人数

5 名程度 ＊希望者多数の場合は選考させていただく場合があります。

(4) 募集対象（以下の要件を満たす専任職員）

- ① 原則として、入職後 10 年未満（30～35 歳程度）で、かつ、複数の職場を経験していること
- ② 研修全日程（全 15 回）、および 11 月～12 月に開催予定の公開シンポジウムに参加できること

(5) 参加費

1 人につき 100,000 円（資料費、準備・運営にかかる諸経費）

＊研修に伴う交通費、宿泊費等は、派遣大学でご負担ください。

(6) 申し込み方法

下記応募フォームより、2020 年 3 月 18 日（水）までに、必要事項を入力・提出してください。

＊なお、応募状況によっては早めに申込を締め切る場合があります。

＜応募フォーム＞

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=leqq-sdkap-9ed8f8904d39b9a96543ccc044c72c4a>

(7) 申し込み結果の通知

2020 年 4 月 3 日（金）までにメールで通知いたします。また、あわせて、参加費請求書を送付しますので、指定期日までに納入をお願いいたします。

【問い合わせ先】

学校法人立命館 大学行政研究・研修センター（事務局：人事課）

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町 1

TEL：075-813-8254 FAX：075-813-8152 E-MAIL：adm-c@st.ritsume.ac.jp

2. 研修の目的

本研修は、政策立案能力を「大学職員全員が身につけるべき課題」として位置づけ、次の力量の獲得を目的としています。

- (1) 社会の動向や高等教育を取り巻く情勢から学園課題を理解し、自らの業務において課題設定する力
- (2) 自らの業務における問題/課題を発見する力
- (3) 数値から実態を把握する力
- (4) 発見した問題/課題に対する解決方法を思考する力
- (5) 問題/課題に対する解決方法を政策としてまとめる力
- (6) 政策をわかりやすく文書化して会議提案する力

3. 受講生について

政策立案トレーニングは、本学育成型人事制度における中核職員期の職員を対象として実施している研修です。本学内で指名された受講生（「入職後4～7年経過している事務職員で、複数職場の在籍歴がある者」を基本として指名）、学内・学外で公募を経て参加される受講生、で構成しています。

＜参考 本学階層別研修における政策立案トレーニングの位置づけ＞

	ひとり立ち期 (在職1～5年目)	中核職員期 (在職3～7年目)	熟達職員期 (在職6年目以降)
研修名	1年目研修、2年目研修、 3年目研修	政策立案トレーニング	熟達期研修
視 点	自身の業務から	他部課、学外へ広げる。	

4. プログラム内容

上記の目的をふまえ、受講生は、約6ヶ月の研修で政策立案に必要な見方や考え方を学びながら、所属部課の課題を政策文書（枚数指定なし）としてまとめ、発表します。

政策文書としてまとめるまでの過程では、多様な視点や経験を有する参加者同士の交流・意見交換を通じて各自の研究を進められるよう、ゼミナールでの議論を中心としています。また、研究を進めるための基礎的なスキルの涵養、今後の大学職員に求められる力量を考えるためのレクチャー等を受講することで、政策文書をブラッシュアップしていきます。

また、所属部課の課題の政策化にあたっては、上司の指導、同僚のアドバイスは不可欠であり、OJTとOFF-JTを組み合わせた点にも本研修の特長があります。

最終日（政策発表会）には、成果発表の場を設けさせていただきます。

事前課題	所属部課の課題から、取り組みたいテーマ（案）について、4/30（木）までにご提出いただきます（書式などの詳細は、申し込み結果の通知の際に連絡します）。	
特別講義	タイトル：私の考える大学職員像と政策立案トレーニングの意義（仮） ー私の考える大学アドミニストレーター像ー 講 師：森島 朋三（学校法人立命館理事長・大学行政研究・研修センター長）	
カリキュラム	スキル講義・演習 （株式会社バリューイノベーション講師）	・問題解決の基本プロセス、調査・分析の手法、提案を進める力（周囲を巻き込む力）などを学習します。

	・講義の他、メンバー間の議論、演習で深めていきます。
課題設定内容発表	・各自の政策立案のテーマについて、参加者間で課題を発表・共有します。
ゼミナール	・研修委員（本学の部長、次長）によるゼミ指導、参加者間でのディスカッションを通じて、政策文書をブラッシュアップしていきます。
シャッフルゼミナール	・研修期間を通じてのゼミナールとは異なったメンバー、研修委員による「シャッフルゼミナール」でディスカッションをおこない、政策文書をブラッシュアップしていきます。
SD ワークショップ	・「大学職員が政策提案をおこなう意義」をテーマに、学外講師（調整中）による講義、ワークを通じて視野を広げ、理解を深めるとともに、政策の必要性や意義を考えていきます。
政策発表会	・研修の成果物として、政策を発表し、コメンテーター（本学の部長、次長）および受講生からの質疑応答を通じて、政策立案文書をさらに深める場とします。
フォローアップ面談（本学の受講生のみ）	・受講生の政策立案文書について、大学行政研究・研修センター事務局長と懇談する場を設定し、役員の政策の見方、視点、考え方などを学ぶ。
シンポジウム	・本研修での取組みにむけた参考・活用をいただくことを目的として、大学行政研究・研修センター主催のシンポジウムにご出席いただきます。 ※2020年11月～12月に開催予定
研修後	・研修の成果物としての政策立案文書は、学校法人立命館 大学行政研究・研修センターのホームページにて公開し、研究内容・大学職員の取組を発信していきます。

5. 上司の方へのお願い

本トレーニングは、上記のとおり、所属部課の課題の政策化にかかわり、上司の指導は不可欠のものとなります。事前課題へのコメントをはじめとして、受講期間中の受講生への指導・助言をお願い致します。また、最終政策発表会には上司の方のご出席もお願いいたします。

日程	曜日	回数	時間帯	研修内容	受講生獲得目標
5月8日	金	1	14:30～15:30	受講生自己紹介、研修受講にあたっての事務局ガイダンス	・研修の目的、ねらい、各スケジュール等について理解する ・受講生自己紹介(研修受講生全体)
			15:30～17:00	森島理事長(大学行政研究・研修センター長)特別講義	・立命館の大学職員に求められる力量について理解する
5月15日	金	2	13:00～17:00	スキル講義・演習① 「課題設定と問題解決の全体像」	・課題設定の考え方を学び、自身の業務課題について考察する。(外部環境の変化をみて将来を読み、課題設定時の留意点を学ぶ) ・問題解決の全体像をつかむ(問題の定義、問題の明確化)
5月29日	金	3	13:00～17:00	受講生各自からの課題設定発表 ※夜:懇親会(人事課主催)	・スキル講義をふまえ、各自が設定した政策提案にむけた課題について発表をおこない、他の受講生からの質疑応答またはコメントをふまえ、政策提案にむけて今後深めていくべき点に気がつくことができる
6月5日	金	4	9:00～12:00	①ゼミナール	・自己紹介 ・構想計画発表のコメントを受けて今後どのような点に留意していきたいかの方向性(論点・提案の流れ)の整理ができる
			13:00～17:00	スキル講義・演習②「対策の立案」	・原因追求のポイントを修得する(開いて掘る、なぜを繰り返す、自責で考える) ・対策立案のポイント(思い込みを捨てる、アイデアの出し方・手法、有効性と実現性で評価する)を習得する。
6月12日	金	5	13:00～17:00	スキル講義・演習③「論理的思考と対策の実行」	・論理的思考の必要性和活用方法について修得する ・論理的思考のポイントを学ぶ(テーマを明確にする、ピラミッド構造を理解する、偏りなく情報をとる、情報の分類、MECE) ・対策を決めて実行する(PDCAサイクル、他者の巻き込み方)
6月18日	木	6	13:00～17:00	SDワークショップ(講師・テーマ調整中)	・政策提案をおこなうにあたっての意義についてSDワークショップを通じて理解する。
6月19日	金	7	9:00～12:00	②ゼミナール	・これまでのスキル講義をふまえて、政策提案文書の章立て・提案構成(一次案)を確定させることができる。
			13:00～17:00	スキル講義・演習④「伝える」	・伝え方についての考え方(コミュニケーションの基本構造、受け手への伝え方)、明確な主張をするにあたってのポイント、等について学び、修得する
7月3日	金	8	13:00～17:00	③ゼミナール	・これまでのスキル講義、ゼミナールで出された意見をふり返し、政策提案文書の章立て・提案構成(二次案)を確定させることができる。 ・中間確認会にむけて発表・伝え方をイメージすることができる
7月17日	金	9	13:00～17:00	中間確認会	・各自の中間政策提案文書を読み、コメントシートを記入、数名からフィードバックコメントをもらい、各自が現在の到達状況と、今後深めていくべき論点を考察する。 一ねらい:各自の発表を聞き、限られた時間の中で疑問点や深めるべき点について意見をまとめることができる。
7月31日	金	10	13:00～17:00	④ゼミナール	・中間発表で受けた指摘・コメントをふまえ、次回ゼミまでにどのような点をブラッシュアップするか、また論点を深めるかについて、認識することができる。
9月4日	金	11	13:00～17:00	⑤シャッフルゼミナール	・通常ゼミとは異なるメンバー、研修委員によるゼミで、最終政策発表にむけた内容を発表、意見交換をおこなう。不足している観点到に気づくこと、他者からの質問・疑問に対応する力を身に付ける。
9月18日	金	12	13:00～17:00	⑥ゼミナール	・中間発表以降の修正箇所を中心に各自が発表、意見交換をとおして、最終政策発表にむけて深めるべき論点を理解する。 ・ブレ発表をおこない、時間管理の感覚をつかむ、また、聞き手に説得力を持って伝えることができる ※個々人の指導が必要となる場合は、ゼミ委員と個人相談の時間を取る。
政策発表までの期間は必要に応じて、ゼミナール委員へ相談するオフィスアワー期間とする(個別、ゼミ生が研修委員と調整)					
10月8日	木	13	13:00～17:30	政策発表①	
10月9日	金	14	9:30～17:30	政策発表②	
11月～12月	調整中	15	13:00～17:00	公開シンポジウム	・大学職員が政策提案をおこなう意義や政策実現にむけた論理展開について理解する。